



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 東洋水産株式会社

コード番号 2875 URL <https://www.maruchan.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 今村 将也

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 松本 千代子 TEL 03-3458-5246

四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 2019年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	198,345	1.0	11,664	0.8	13,229	4.5	9,571	12.2
2019年3月期第2四半期	196,451	3.4	11,572	△9.5	12,665	△8.9	8,529	△3.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 5,688百万円 (△64.8%) 2019年3月期第2四半期 16,169百万円 (52.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	93.72	—
2019年3月期第2四半期	83.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	387,978	309,256	76.8
2019年3月期	390,190	307,729	76.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 298,107百万円 2019年3月期 296,638百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	40.00	70.00
2020年3月期	—	40.00	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	420,000	4.7	27,000	14.1	29,500	12.7	21,000	13.9	205.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、 除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	110,881,044株	2019年3月期	110,881,044株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	8,752,506株	2019年3月期	8,752,148株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	102,128,622株	2019年3月期2Q	102,129,126株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出を中心に弱さが続いているものの、雇用・所得環境の改善が続く中で、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移しましたが、通商問題を巡る緊張の増大が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動により景気が下振れするリスクも依然として存在しております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むとともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は198,345百万円（前年同四半期比1.0%増）、営業利益は11,664百万円（前年同四半期比0.8%増）、経常利益は13,229百万円（前年同四半期比4.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,571百万円（前年同四半期比12.2%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の為替換算レートは、107.93円/米ドル（前第2四半期連結累計期間は、113.58円/米ドル）であります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

水産食品事業は、主力商品の鮭鱒・魚卵等における市況変動の影響や国内外の近海魚の漁獲不良による魚価高騰が見られる中、コンビニエンスストアや量販店向けに適正価格での販売に努めましたが、競争の激化もあり販売数量が減少しました。その結果、売上高は14,927百万円（前年同四半期比2.8%減）、セグメント損失は31百万円（前年同四半期はセグメント利益159百万円）となりました。

海外即席麺事業は、米国では大手得意先の店舗毎に実施した特売や新学期セール等の定期的な特売の実施により、主力商品の袋麺「Ramen」シリーズ、カップ麺「Instant Lunch」シリーズ、「Bowl」シリーズが好調に推移し、増収となりました。メキシコでは主力商品のカップ麺が堅調な動きだったことに加え、販売を強化している袋麺が好調に推移し、増収となりました。その結果、売上高は41,860百万円（前年同四半期比2.7%増）、セグメント利益は、人件費等の増加はありましたが、販売数量の増加、販促費の抑制、物流費の削減等により5,237百万円（前年同四半期比15.6%増）となりました。

国内即席麺事業は、生産・供給コストが上昇する中で、お客様にご満足いただける品質の商品を安定的にお届けするため、2019年6月より価格改定を実施いたしました。そのような状況の中、カップ麺では「赤いきつねうどん」「緑のたぬき天そば」等の和風シリーズ、「麺づくり」シリーズ、「MARUCHAN QTTA」シリーズ等の基幹商品を中心に様々なプロモーションで市場活性化に取組んだことに加え、「赤いたぬき天うどん」「赤いきつね焼うどん」といった期間限定商品、湯切りタイプの新商品を発売した「マルちゃん正麺カップ」シリーズ、また「ごつ盛り」シリーズも好調に推移し、増収となりました。袋麺では「マルちゃん正麺」シリーズを中心に需要喚起に努めましたが、減収となりました。その結果、売上高は57,540百万円（前年同四半期比0.7%増）、セグメント利益は、物流費や原材料費等の増加はありましたが、売上増により3,125百万円（前年同四半期比12.8%増）となりました。

低温食品事業は、生産・供給コストが上昇する中で、お客様にご満足いただける品質の商品を安定的にお届けするため、2019年4月より価格改定を実施いたしました。そのような状況の中、生麺では期間限定商品の発売や消費者キャンペーン等を実施した「マルちゃん焼そば3人前」シリーズが計画通りに推移したことに加え、今期から全国に販売エリアを拡大した水でほぐすだけの「つるやか」シリーズ、野菜がおいしく食べられる「パリパリ無限」シリーズが大きく伸ばしたことにより、増収となりました。チルド・冷凍食品類では主力商品のしゅうまいやワンタンは減収となりましたが、市販用の「冷凍麺焼そば」等が好調に推移しました。その結果、売上高は37,286百万円（前年同四半期比2.3%増）、セグメント利益は、物流費の増加等はありませんでしたが、売上増により2,877百万円（前年同四半期比11.6%増）となりました。

加工食品事業は、米飯やフリーズドライ商品では市場拡大を捉えるべく生産能力の向上に努めました。無菌米飯では「あったかごはん」シリーズ、フリーズドライ商品では5食入り袋スープ「素材のチカラ」シリーズ等の主力商品の販促企画に加え、新商品の投入にも努めました。その結果、売上高は10,960百万円（前年同四半期比1.2%増）、セグメント損失は、新工場稼働に伴う減価償却費等の増加により766百万円（前年同四半期はセグメント損失472百万円）となりました。

冷蔵事業は、2019年1月に埼玉杉戸物流センター及び神戸物流センターが稼働したことにより庫腹量が増加したことに加え、冷凍食品を中心とした取扱いや通関・運送等の付帯業務の取扱いが堅調に推移しました。その結果、売上高は10,331百万円（前年同四半期比10.9%増）、セグメント利益は、新冷蔵庫稼働に伴う減価償却費・人件費等の増加により665百万円（前年同四半期比38.5%減）となりました。

その他は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は25,439百万円（前年同四半期比4.4%減）、セグメント利益は840百万円（前年同四半期比31.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比べ総資産は2,212百万円減少し、387,978百万円、純資産は1,527百万円増加し、309,256百万円となりました。この主な変動要因は、以下のとおりであります。

資産は、主に現金及び預金、建設仮勘定が増加しましたが、受取手形及び売掛金、投資有価証券が減少しました。負債は、主に支払手形及び買掛金、その他流動負債、その他固定負債が減少しました。純資産は、主にその他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金が増加しました。

この結果、自己資本比率は76.8%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3,051百万円（13.1%）増加し、26,337百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ7,096百万円（49.7%）増加し、21,364百万円となりました。これは主に、売上債権の減少により資金が増加したことによるものであります。

投資活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ10百万円（0.1%）減少し、13,457百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が減少したことによるものであります。

財務活動の結果使用した資金は、前年同四半期に比べ1,388百万円（43.0%）増加し、4,618百万円となりました。これは主に、配当金の支払額が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関する事項につきましては、当第2四半期連結累計期間の業績が想定していた範囲内で推移しているため、2019年5月10日に発表しました見通しを変更しておりません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,280	88,520
受取手形及び売掛金	54,432	50,826
有価証券	32,000	33,000
商品及び製品	19,168	18,117
仕掛品	332	332
原材料及び貯蔵品	6,722	6,853
その他	4,990	3,917
貸倒引当金	△628	△656
流動資産合計	203,298	200,911
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	71,773	71,596
機械装置及び運搬具(純額)	35,599	36,629
土地	35,622	35,540
リース資産(純額)	2,707	2,657
建設仮勘定	5,722	6,934
その他(純額)	1,350	1,315
有形固定資産合計	152,776	154,674
無形固定資産		
その他	1,604	1,465
無形固定資産合計	1,604	1,465
投資その他の資産		
投資有価証券	30,409	28,445
繰延税金資産	1,165	1,476
退職給付に係る資産	75	69
その他	860	935
投資その他の資産合計	32,511	30,926
固定資産合計	186,891	187,066
資産合計	390,190	387,978

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	26,320	24,774
短期借入金	644	316
リース債務	254	285
未払費用	21,111	20,342
未払法人税等	1,909	3,181
役員賞与引当金	74	39
その他	3,555	2,353
流動負債合計	53,870	51,293
固定負債		
リース債務	3,664	3,678
繰延税金負債	3,476	3,120
役員退職慰労引当金	302	308
退職給付に係る負債	18,899	18,934
関係会社事業損失引当金	28	—
資産除去債務	216	211
その他	2,002	1,175
固定負債合計	28,590	27,428
負債合計	82,461	78,722
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,969	18,969
資本剰余金	22,942	22,942
利益剰余金	252,891	258,377
自己株式	△8,228	△8,229
株主資本合計	286,574	292,059
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,853	8,513
繰延ヘッジ損益	△1	0
為替換算調整勘定	2,054	△709
退職給付に係る調整累計額	△1,843	△1,757
その他の包括利益累計額合計	10,063	6,047
非支配株主持分	11,090	11,148
純資産合計	307,729	309,256
負債純資産合計	390,190	387,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	196,451	198,345
売上原価	125,692	127,532
売上総利益	70,759	70,812
販売費及び一般管理費	59,187	59,148
営業利益	11,572	11,664
営業外収益		
受取利息	754	1,023
受取配当金	270	283
持分法による投資利益	62	61
雑収入	502	478
営業外収益合計	1,588	1,847
営業外費用		
支払利息	127	123
貸倒引当金繰入額	228	—
雑損失	140	158
営業外費用合計	496	282
経常利益	12,665	13,229
特別利益		
固定資産売却益	8	2
投資有価証券売却益	232	—
補助金収入	93	93
その他	60	19
特別利益合計	394	115
特別損失		
固定資産除売却損	202	168
減損損失	176	10
災害による損失	123	—
その他	1	16
特別損失合計	505	195
税金等調整前四半期純利益	12,555	13,149
法人税、住民税及び事業税	3,402	3,528
法人税等調整額	339	△109
法人税等合計	3,742	3,418
四半期純利益	8,812	9,731
非支配株主に帰属する四半期純利益	283	159
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,529	9,571

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	8,812	9,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,042	△1,381
繰延ヘッジ損益	68	2
為替換算調整勘定	6,109	△2,764
退職給付に係る調整額	126	96
持分法適用会社に対する持分相当額	10	4
その他の包括利益合計	7,356	△4,042
四半期包括利益	16,169	5,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,033	5,555
非支配株主に係る四半期包括利益	135	133

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,555	13,149
減価償却費	6,547	7,143
減損損失	176	10
持分法による投資損益(△は益)	△62	△61
投資有価証券売却損益(△は益)	△232	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△13	196
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4	6
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△40	△35
貸倒引当金の増減額(△は減少)	231	27
受取利息及び受取配当金	△1,024	△1,307
支払利息	127	123
為替差損益(△は益)	△53	15
有形固定資産除売却損益(△は益)	193	165
売上債権の増減額(△は増加)	380	3,494
たな卸資産の増減額(△は増加)	5	814
仕入債務の増減額(△は減少)	△827	△1,467
未払費用の増減額(△は減少)	△653	△713
その他	△507	1,707
小計	16,808	23,270
利息及び配当金の受取額	825	1,166
利息の支払額	△127	△123
法人税等の支払額	△3,239	△2,949
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,267	21,364
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△28,068	△27,522
定期預金の払戻による収入	26,190	26,598
有価証券の取得による支出	△42,000	△45,000
有価証券の償還による収入	44,000	44,000
有形固定資産の取得による支出	△13,538	△11,167
有形固定資産の売却による収入	18	3
無形固定資産の取得による支出	△262	△198
投資有価証券の取得による支出	△14	△15
投資有価証券の売却による収入	342	—
貸付けによる支出	△718	△843
貸付金の回収による収入	604	794
その他	△21	△106
投資活動によるキャッシュ・フロー	△13,467	△13,457

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	463	373
短期借入金の返済による支出	△432	△700
配当金の支払額	△3,058	△4,079
非支配株主への配当金の支払額	△77	△71
その他	△125	△140
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,229	△4,618
現金及び現金同等物に係る換算差額	517	△237
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,913	3,051
現金及び現金同等物の期首残高	25,409	23,286
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,496	26,337

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	15,353	40,771	57,135	36,444	10,826	9,315	169,848	26,603	196,451	-	196,451
セグメント間の内部 売上高又は振替高	509	-	-	-	-	523	1,033	45	1,078	△1,078	-
計	15,863	40,771	57,135	36,444	10,826	9,839	170,881	26,649	197,530	△1,078	196,451
セグメント利益 又は損失(△)	159	4,528	2,771	2,577	△472	1,082	10,648	1,233	11,882	△309	11,572

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△309百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△557百万円、棚卸資産の調整額34百万円及びその他の調整額213百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結財務 諸表 計上額 (注) 3
	水産食品 事業	海外即席 麺事業	国内即席 麺事業	低温食品 事業	加工食品 事業	冷蔵事業	計				
売上高											
外部顧客への売上高	14,927	41,860	57,540	37,286	10,960	10,331	172,906	25,439	198,345	-	198,345
セグメント間の内部 売上高又は振替高	476	-	-	-	-	589	1,065	43	1,108	△1,108	-
計	15,403	41,860	57,540	37,286	10,960	10,920	173,971	25,483	199,454	△1,108	198,345
セグメント利益 又は損失(△)	△31	5,237	3,125	2,877	△766	665	11,107	840	11,948	△283	11,664

(注) 1 その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、主に弁当・惣菜事業であります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△283百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△564百万円、棚卸資産の調整額23百万円及びその他の調整額257百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。その他の調整額は、主に海外子会社からのノウハウ料相殺消去額であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
金額的重要性が乏しいため記載を省略しております。